



スマートフォンで
広報たじみを
持ち歩く！

編集発行 多治見市役所 企画部 秘書広報課
〒07-8703 岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地 TEL 0572-22-1111
FAX 0572-24-3679 E-mail hisyokho@city.tajimi.lg.jp
<http://www.city.tajimi.lg.jp/>



多治見市緊急メールに登録してください
携帯電話に緊急情報を送ります
<https://service.sugumail.com/tajimi>



▲耐震強度を上げるため、今は土葺き工法ではなく重量を軽減するため引っ掛け葺き工法が多い



▲鑿（瓦葺き用の鑿）を使い瓦の形状を整える成田さん。伝統工法を守り続ける



▲瓦は断熱性に優れているため、冬暖かく夏涼しいエコ商品。防音性にも優れているので静かで落ち着く

..... SPECIAL TALK



輝く^ワ技術^ザ

誰よりも早く、

きれいに

成田篤孝さん

瓦葺職人
(成田屋根工本店)



愛知県愛西市出身の31歳。地元の屋根工事会社で技術を磨き、厚生労働大臣認定の「かわらぶき技能士」1級を取得したところから、誰よりも早く、誰よりもきれいにとのめり込むようになりました。暑い・寒い・危ない、三重苦の仕事ですが、実力が認められることで、より楽しいと思えるようになりました。

今年3月に「全瓦連技能グランプリ」（一般社団法人全日本瓦工事業連盟主催）で優勝しました。平成28年の「第28回技能グランプリ」（厚生労働省など主催）に続き2度目の全国制覇でした。技術を磨くにつれこだわりは強くなります。屋根の上を気にする人は少ないですが、妥協はしたくないですね。

瓦葺職人とは、瓦施工のプロフェッショナルのことです。瓦の素材を熟知したプロフェッショナルが現場の状況に合わせ、鑿※1を使って瓦を割ったり、研る※2作業をします。特に、伝統的和瓦においては、高度な施工技術が必要になります。

瓦は、耐熱・耐水性に優れているため涼しく、しかも静かです。最近は瓦を使わない家が増えていますが、日本の風土に一番合っている屋根素材は瓦であるということを伝えていきたいです。

※1 瓦葺き専用の工具の一種

※2 形を整えるために表面を鑿で削る作業のこと

人口と世帯数の動き

平成30年5月1日現在

総人口		
111,243人	(前月比)	-49人
男 54,068人	(前月比)	-32人
女 57,175人	(前月比)	-17人
世帯数		
46,273世帯	(前月比)	+46世帯

文化財み～つけた 釜陶祖供養塔

釜区 共同墓地内



笠原の陶祖・加藤治郎太夫の供養塔と、功績を称える石碑が釜区共同墓地にあります。慶長20年(1615年)、妻木城主・妻木雅楽之助より命じられて久々利(現可児市)から笠原村に移住した加藤治郎太夫は、荒れ地を開墾して築窯し、笠原村の窯業の基礎を作りました。供養塔と石碑は笠原町全区の有志たちにより昭和8年に建立されたものです。